

登録団体活動紹介

特定非営利活動法人仙台傾聴の会

「傾聴」とは、相手の話をありのままに受け止めること、相手の話を否定せず、自分の意見を押し付けたり、自分の価値観で判断せずに、相手の方を尊重し、言葉の奥にある悩みや不安、寂しさなど、相手の方の心に寄り添い、話を「聴く」ことです。

傾聴で心に寄り添う

特定非営利活動法人仙台傾聴の会は、名取の自殺率が全国の中でも高いことを知り、その現状に心を痛めていた代表の森山英子さんが、悩みや寂しさを抱えた方たちの話を聴くことで行動を変化させることができるのではないかと考え、傾聴ができるボランティアの育成と派遣活動を行う団体を、平成20年に10名で立ち上げ、平成25年に法人格を取得しました。

現在は、5支部体制（仙台北・中・南、名取、岩沼）で200名を超える会員が、傾聴ボランティアとして活動しています。主に高齢者福祉施設や独居個人宅で、誰とも話す機会のない孤立している方々の話を聴くことで、高齢者の自殺防止にも貢献してきました。

大切な「集いの場」

震災後は宮城県医師会からの要請を受けて各避難所での傾聴活動を開始し、被災者支援にも力を入れてきました。被災者支援で大切なのは、集いの場づくりです。仮設住宅集会所で開いた「傾聴茶話会」には多くの方が参加し、少しずつ笑顔を取り戻すことが出来ました。今は復興住宅集会所等に場所を移し音楽療法や、箱庭療法を取り入れた様々な集いの場を開催しています。

東日本大震災から間もなく10年、傾聴活動の中で「これまでは、自分の心と向き合うことができなかったが、ようやく自分の胸の内を話すことができるようになった…」と吐露する場面。

森山代表は、心の復興はまだまだ途上であり、今後も集う場づくりを続けることの大切さを実感していると話します。

ところが、今年、新型コロナウイルス感染防止対策により集う場を奪われ、対面での傾聴活動ができ

ません。そこで、従来の電話相談の実施日を2倍に回線を4倍に増やす対策を取りました。長引くコロナ禍での不安や恐怖心を抱えた方々からは「話せて良かった、気持ちが楽になった」との声がありました。傾聴の会は、刻々と変化する社会状況に対応し、支援の形も常に変えながら必要としている方にしっかりと寄り添っています。

傾聴ボランティア養成講座 in 名取市

開催日時：9/13(日)、9/19(土)、9/27(日)
時間：10:00～15:00の3日間コース

会場：名取市民活動支援センター
(名取市大手町3丁目-1)

主催：NPO 仙台傾聴の会



ランチ会の様子



たけくまカフェの様子

参加者募集チラシ

傾聴ボランティアを始めてみませんか？

もし「誰かの役に立ちたい」と思っていたら、カウンセリングの基本である「傾聴」を学んでみませんか？特定非営利活動法人仙台傾聴の会では、傾聴ボランティア養成講座を9月に開催します。震災、ウイルス感染と様々なストレスに対して心が悲鳴をあげている方が少なくありません。

これからも、「心に寄り添う活動」を継続していくために是非、皆さんにも「傾聴」に関心をもって頂けたらと思います。

問合せ先 特定非営利活動法人仙台傾聴の会
〒981-1232 名取市大手町5-6-1(なとセン内)
携帯 090-6253-5640(代表理事 森山英子)
メール moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
HP <http://sendai-keicho.sakura.ne.jp/wp/>